

平成30年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉県男女共同参画センター
条例上の設置目的	社会福祉の増進及び男女共同参画社会の形成の促進を図るため、市民の自主的な活動及び交流の場を提供するとともに、各種の事業を行うこと。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県男女共同参画ハーモニー条例に基づき、男女がお互いの人権を尊重し、責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会を目指すこと。 ・本市の男女共同参画施策を推進するための拠点施設として、市民及び事業者の男女共同参画社会の形成に関する取組みを支援すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	男女共同参画社会の実現に向け、調査・研究事業、情報収集提供事業、相談事業、研修・学習事業、交流啓発事業を実施すること。
制度導入により見込まれる効果	センターの施設の各機能を十分に生かした幅広い男女共同参画推進のための事業展開の実現
成果指標※	<ul style="list-style-type: none"> ① 講座の受講者アンケートにおける満足度 ② 施設利用者数
数値目標※	<ul style="list-style-type: none"> ① 「満足」70%以上 ② 増加（前年度比1%以上）
所管課	市民局生活文化スポーツ部男女共同参画課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	千葉県ハーモニープラザ管理運営共同事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	<p>【代表団体】社会福祉法人千葉県社会福祉事業団</p> <p>【構成団体】社会福祉法人千葉県社会福祉協議会</p> <p>【構成団体】公益財団法人千葉県文化振興財団 ※千葉県男女共同参画センター担当</p>
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉県中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	平成30年4月1日～令和2年3月31日（2年）
選定方法	非公募
非公募理由	<p>千葉県ハーモニープラザは、平成28、29年度において、施設全体のあり方を検討した結果、ことぶき大学校及び男女共同参画センターの一部を蘇我コミュニティセンターの分館に転用する方向性を定めた。</p> <p>また、平成30年度から令和元年度までの2年間に於いては、利用者等への周知や施設の効果的かつ効率的な管理体制等の調整をすることとしており、指定管理者の選定にあたっては、指定期間が原則の5年間より短い、2年間であっても、安定した施設運営が可能な団体を選定する必要があることから、「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」第2条第3号の規定に基づき、実績のある現指定管理者の千葉県ハーモニープラザ管理運営共同事業体を非公募で指定することとした。</p>
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H30年度実績	達成率※
講座の受講者アンケートにおける満足度	「満足」70%以上	88.8%	126.9%
施設利用者数	増加（前年度比1%以上）（前年度比）	62,401人	85.3%（86.2%）

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	H30年度実績

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目	H30年度	【参考】 H29年度	計画実績差異・要因分析				
			差異	主な要因			
指定管理料	実績	129,702	127,252	実績－計画	0	—	
	計画	129,702	127,252	計画－提案	△ 915		提案時と計画時の人員配置の差
	提案	130,617	140,734				
利用料金収入	実績	10,790	11,876	実績－計画	△ 1,568	施設利用件数の減	
	計画	12,358	11,636	計画－提案	0	—	
	提案	12,358	11,636				
その他収入	実績			実績－計画	0		
	計画			計画－提案	0		
	提案						
合計	実績	140,492	139,128	実績－計画	△ 1,568		
	計画	142,060	138,888	計画－提案	△ 915		
	提案	142,975	152,370				

イ 支出

(単位：千円)

費目		H30年度	【参考】 H29年度	計画実績差異・要因分析		
				差異	主な要因	
人件費	実績	105,569	104,834	実績－計画	△ 5,495	職員の退職による人員配置の変更 提案時と計画時の人員配置の差
	計画	111,064	107,855	計画－提案	△ 670	
	提案	111,734	115,116			
事務費	実績	9,909	12,545	実績－計画	△ 586	事務経費の削減 —
	計画	10,495	10,486	計画－提案	0	
	提案	10,495	13,568			
管理費	実績	3,814	3,519	実績－計画	△ 66	通信費の削減 修繕費の増加
	計画	3,880	3,850	計画－提案	7	
	提案	3,873	3,763			
委託費	実績	11,274	12,500	実績－計画	△ 829	委託業務費の削減 委託業務の増加
	計画	12,103	12,174	計画－提案	613	
	提案	11,490	14,883			
その他事業費	実績	1,548	1,390	実績－計画	△ 639	講師謝礼の見直し 講師謝礼の見直し
	計画	2,187	2,192	計画－提案	△ 865	
	提案	3,052	2,670			
本社費・共通費	実績	2,207	2,098	実績－計画	△ 124	事務局（本部）経費の削減 —
	計画	2,331	2,331	計画－提案	0	
	提案	2,331	2,370			
合計	実績	134,321	136,886	実績－計画	△ 7,739	
	計画	142,060	138,888	計画－提案	△ 915	
	提案	142,975	152,370			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

【事務局（本部）経費の配賦基準・算定根拠】

文化振興財団法人事務局における経費について、平成26年度に千葉市外郭団体を対象に実施された、千葉市包括外部監査における監査人の提案に基づいて、事務局経費全体を当該財団の平成28年度経常収益積算額に占める指定管理委託料及び利用料金等の合計金額の割合で按分率を算出し、配賦している。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H30年度	【参考】 H29年度
自主事業収入	実績	328	333
その他収入	実績		
合計	実績	328	333

イ 支出

(単位：千円)

費目		H30年度	【参考】 H29年度
人件費	実績	566	616
事務費	実績	4	8
管理費	実績	0	0
委託費	実績	219	253
使用料	実績	125	92
事業費	実績	210	184
利用料金	実績	0	0
その他事業費	実績	0	0
本社費・共通費	実績	0	0
合計	実績	1,124	1,153

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

—

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H30年度	【参考】H29年度
必須業務	収入合計	140,492	139,128
	支出合計	134,321	136,886
	収支	6,171	2,242
自主事業	収入合計	328	333
	支出合計	1,124	1,153
	収支	△ 796	△ 820
総収入		140,820	139,461
総支出		135,445	138,039
収支		5,375	1,422
利益の還元額		0	0
利益還元の内容		—	—

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項
講座の受講者アンケートにおける満足度「満足」70%以上の達成	A	数値目標を達成しており、成果を上げている。 ※実績：88.8%、達成率：126.9%
施設利用者数増加（前年度比1%以上）（市設定数値：前年度比）の達成	C	指定管理者設定の数値目標と市設定の数値目標を共に下回る結果となった。 ※実績：62,401人（H29年度72,400人）、達成率：85.3%（86.2%）

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	事務費見直し、働き方改革推進など積極的に務めている。 ※提案額比0.6%削減

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理			
市民の平等利用の確保	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・関連法令等を遵守し、適正に業務を行っている。 ・リスク管理・緊急時対応について、千葉市ハーモニープラザ内各施設との連絡調整や情報共有を図るなど、管理協力体制を構築している。
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・シフト制により適正な人員で業務を行っている。 ・各種研修等に積極的に出席し、能力の向上に努めている。
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の状況を常時把握し、設備異常などの早期発見に努めている。
施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・提案どおり適正に履行している。 ・チラシを公共施設へ配架、ホームページの情報を随時更新、出張講座を積極的に行うなど、利用促進に努めている。
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免 利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への支援について、提案どおりの内容を確実に履行している。 ・利用者アンケートなどの結果において課題があれば、ミーティングの場で改善策を検討するなど、利用者サービスの充実に努めている。
利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			

(3) 施設における事業の実施			・出張講座を積極的に行うなど、男女共同参画センター事業の周知・内容の充実に努めている。また、研修・学習事業以外の事業についても提案・計画どおり適正に実施している。	
	施設の事業の効果的な実施	C		C
	自主事業の効果的な実施			
4 その他				
市内業者の育成	C	C	・市内業者の育成や障害者雇用の確保などについて、配慮した管理運営が行われている。	
市内雇用への配慮				
障害者雇用の確保				
施設職員の雇用の安定化への配慮				

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
・管理運営については、利用率の状況は評価できるが、施設の中の効率的な運営については、今後も検討していただきたい。	平成29年度	主催事業を早期に計画することにより、一般利用者に対してより多くの施設を貸し出すことができるよう努めている。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設貸出時にアンケート用紙を渡し、終了時に回収
	回答者数	有料施設 73件
	質問項目	当館を選んだ理由・ご利用回数・どこで知ったか・施設の清潔感・使いやすさ・スタッフ・備品・インターネット予約
結果	選んだ理由(複数回答可)：立地48件、施設規模34件、利用料金が適当13件、希望日が空いていた14件、その他7件 利用回数：初めて1件、2回目0件、3回目5件、4回以上66件、未回答1件 どこで知ったか：知人21件、ハーモニープラザHP10件、千葉県HP12件、その他22件、未回答8件 清潔感：非常に満足43件、満足28件、やや不満0件、不満足0件、未回答2件 使いやすさ：とても使いやすい28件、使いやすい42件、使いにくい2件、未回答1件 スタッフ：非常に満足38件、満足32件、やや不満0件、不満足0件、未回答3件 備品：非常に満足24件、満足46件、やや不満2件、不満足0件、未回答1件 インターネット予約：とても使いやすい5件、使いやすい26件、使いにくい4件、未回答38件	

実施内容	調査方法	講座受付時にアンケート用紙を配布し、終了時に回収
	回答者数	回答者数 921人
	質問項目	性別・年代・居住区・参加したことのあるもの・これまでの利用回数・この講座をどのように知ったか・この講座に参加した理由・職員の対応・満足度
結果	<p>性別：女性672人、男性204人、答えたくない3人、未回答42人</p> <p>年代：20歳未満7人、20代22人、30代135人、40代193人、50代149人、60代217人、70代169人、80代以上1人、答えたくない11人、未回答17人</p> <p>居住区：中央区309人、花見川区83人、稲毛区95人、若葉区101人、緑区90人、美浜区84人、市外93人、答えたくない8人、未回答58人</p> <p>参加したことのあるもの(複数回答可)：講座533人、情報資料センター239人、相談48人、交流コーナー69人、施設利用162人、まつり197人、シアター83人、フィットネス24人、託児室49人、フォーラム52人、その他47人</p> <p>これまでの利用回数：はじめて505人、過去1回124人、何回も273人、未回答19人</p> <p>この講座をどのように知ったか：ハーモニープラザに来館295人、講座News84人、市政だより187人、家族知人106人、ホームページ41人、新聞7人、その他89人、未回答110人</p> <p>この講座に参加した理由(複数回答可)：テーマに興味675人、男女共同参画に関心52人、知識を身につけたい312人、視野を広げたい162人、講師に惹かれた103人、自分の気持ちや生き方を考えたい124人、家族知人に誘われた88人、仲間を作りたい15人、その他52人</p> <p>職員の対応：とても良い488人、良い254人、普通60人、悪い3人、未回答116人</p> <p>満足度：満足594人、ほぼ満足224人、どちらともいえない42人、やや不満3人、未回答58人</p>	

実施内容	調査方法	面接による相談のため来館した方が、待合室でアンケートに記入
	回答者数	回答者数 2人
	質問項目	相談室を知ったきっかけ・相談時間・相談員の対応・相談が役に立ったか・今後も利用したいか・年代
結果	<p>相談室を知ったきっかけ：法テラスより1人、DVのちらし1人</p> <p>相談時間：ちょうどよかった2人</p> <p>相談員の対応：良かった2人</p> <p>相談が役に立ったか：とても役に立った2人</p> <p>今後も利用したいか：利用したいと思う2人</p> <p>年代：30代1人、60代以上1人</p>	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
特になし	

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none"> ・事業及び施設等管理について、事業計画に沿って遺漏なく行った。 ・調査・研究事業において、「生活経済に関する意識調査 調査結果報告書」や「災害時のトイレ対策のイロハ[情報・ヒント]集」など、市の男女共同参画施策の参考となる資料および男女共同参画の視点に立った実践書を作成した。 ・相談業務について、事業計画どおり「女性相談」・「男性相談」を行い、さまざまな悩みや問題を抱えた方からの相談を積極的に受けた。 ・自主事業では、ハーモニープラザの賑わいの創出、及び男女共同参画を周知するための事業を実施した。 ・講座の受講者アンケートにおいて「満足度」が目標を大きく上回るなど、一定の成果を上げることができた。
----------	---	----	--

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に基づき、適正に管理運営されている。 ・出張講座を積極的に行うなど、男女共同参画センター事業の周知・内容の充実に努めている。 ・自主事業についても、管理運営業務に支障をきたすことなく実施しており、賑わいの創出に寄与している。 ・年度途中で人員配置の変更が発生するも、速やかに人員確保を行い、市民サービスの質を落とすことなく事業を実施した。
----------	---	----	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・財務状況については、本部会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。
- ・管理運営については、概ね適切に管理が行われていると認められる。特に相談業務については、充実しており評価できるが、次の事項に留意されたい。
 - ①同種の事業とのすみ分け等、施設の在り方や継続性について、引き続き検討をしていただきたい。